

投影期間

プラネタリウム秋番組

9月12日(土)

12月6日(日)

■ 期間中の休館日

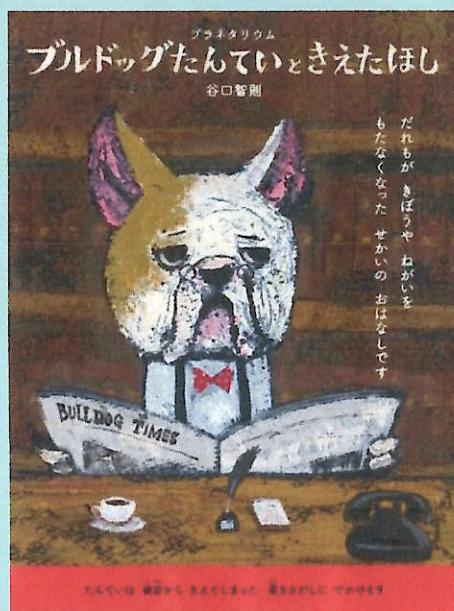
月曜日(9月21日、10月12日、11月23日は開館)

9月24日(木)、10月13日(火)、

11月4日(水)、11月24日(火)

※11月10日(火)はプラネタリウムのみお休み

秋のこども番組



秋の特別番組

期間によって違う番組を投影

台風～天体が生み出す大気の渦

MMX火星衛星探査計画

10月18日・25日は、ロングver



■ プラネタリウム番組と投影時間

	午前11時	午後1時	午後3時
平日	—	—	星の航路図 ボイジャー50年の旅
土・日・祝日 <9月23日と 下記期間を除く>	ブルドッグたんてい ときえたほし	台風	星の航路図 ボイジャー50年の旅
土・日・祝日 <10月3日～ 11月1日>	ブルドッグたんてい ときえたほし	MMX火星 衛星探査計画	星の航路図 ボイジャー50年の旅

投影途中での入退場はできません。

9月23日(水・祝日)はすべて、**お月見投影**に変わります。

■ 観覧料 当日、館内の券売機でお求めください。

おとな300円、小・中学生100円、未就学児は無料

メガスターが映し出す星空をお楽しみください。どの番組にも星座解説があります。

投影期間 2026年9月12日(土)～12月6日(日)

秋の一般番組

星の航路図 ボイジャー50年の旅

投影日時 平日、土・日、祝日午後3時

※9月23日(水・祝日)、11月10日(火)を除く

1977年、地球を飛び立った探査機ボイジャー。

木星、土星、天王星、海王星をめぐり、数々の新発見をもたらしながら、今も宇宙を旅し続けています。その壮大な旅を、一人の少年の宇宙へのあこがれと重ねて描きました。

「ゴールデンレコード」に託された人類のメッセージ。未知の宇宙へのときめきと、かけがえのない地球に気づかされる物語です。



秋の特別番組

台風～天体が生み出す大気の渦

投影日時 土・日・祝日 午後1時

※9月23日(水・祝日)と10月3日～11月1日を除く

地球最大の渦巻現象である「台風」。この巨大な渦は、地球の自転と大気が生み出しています。太陽系のほかの惑星にも、発生している天体の生み出す大気の渦をみていきます。

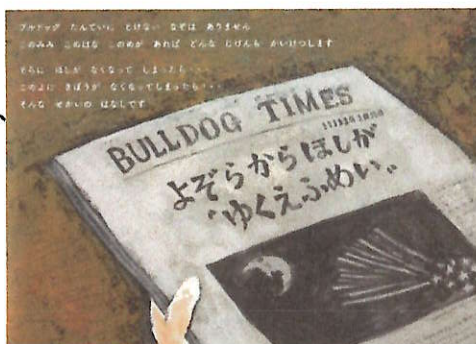
秋のこども番組

ブルドッグたんていときえたほし

投影日時 土・日・祝日 午前11時

※9月23日(水・祝日)を除く

ブルドッグたんていにとけない謎はありません。この耳、この鼻、この目があれば、どんな事件でも、解決します。空に星がなくなってしまうたら…。この世に希望がなくなってしまうたら…。そんなせかいのはなしです。



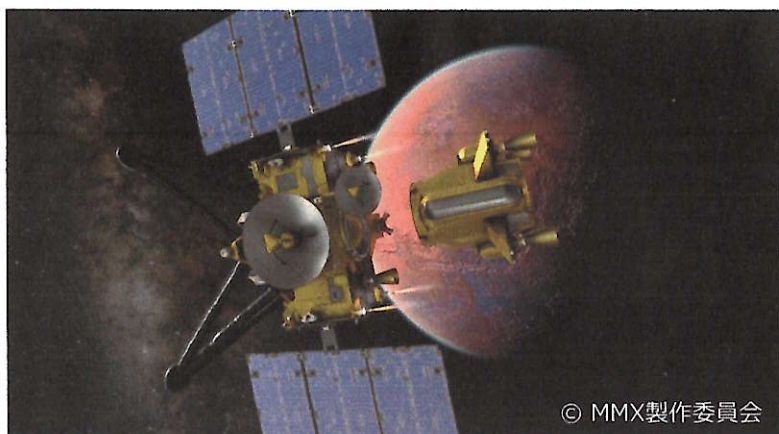
秋の特別番組

MMX火星衛星探査計画

投影日時 10月3日～11月1日の土・日・祝日 午後1時

※10月18日(日)と25日(日)は、ロングバージョンを投影

小惑星探査機「はやぶさ2」は、2020年に小惑星リュウグウのかけらを地球に持って帰りました。その技術を受け継いで行われるのがMMX火星衛星探査計画です。『火星の衛星フォボスに着陸してサンプルを持ち帰る』というミッションと、サンプルを持ち帰ることでわかることを紹介します。この秋、打ち上げです。



© MMX製作委員会

季節の投影 お月見投影

投影日時 9月23日(水・祝日)

午前11時、午後1時、午後3時

メガスターの月を愛でながら、月の話題を紹介します。職員が直接お話しする投影です。

※この日の通常の秋番組の投影は、お休みします。

東大和市立郷土博物館

東京都東大和市奈良橋1-260-2

TEL042-567-4800 FAX042-567-4166

東大和市立郷土博物館
Higashiyamato City Local History Museum

生誕120年



「荒磯」ARISO

吉岡堅一展

一枚に至る、

画家の思考

令和
8年

10/3(土) → 11/15(日)

入場
無料



開館時間：午前 9 時から午後 5 時まで
会期中の休館日：月曜日、10月13日、11月4日
(※10月12日、11月3日は開館)
会場：東大和市立郷土博物館 1階企画展示室
住所：東大和市奈良橋1-260-2 TEL：042-567-4800

生誕120年

吉岡堅二展

その一枚に至る、画家の思考

一人の日本画家は、どのように一枚の絵を生み出したのか。本展では、生誕120年を迎える東大和市ゆかりの日本画家・吉岡堅二の歩みをたどるとともに、大下図や下絵を通して、その独創的な構図や制作過程に迫ります。画塾で研鑽を積んだ青年期から、日本画壇で活躍した円熟期、東京芸術大学教授として後進の育成に尽力し、新たな表現を追い求め続けた晩年まで、その創作の軌跡を紹介します。さらに、法隆寺金堂壁画の模写事業やカッパドキアでの調査、制作など吉岡堅二の幅広い仕事と芸術の魅力をご覧ください。



①



②

① 法隆寺金堂模写大壁第八号壁 (部分)
② 雄木
③ 乳牛
④ 素描



③



④



明治39年、吉岡堅二は、日本画家吉岡華堂の次男として東京で生まれる。15歳で、父と同門であった野田九浦の画塾に入門。狩野派の流れを汲むこの画塾で、伝統的な日本画の基礎を身につけ、父譲りの画才を開花させる。のちに、昭和における日本画の革新運動を牽引した。時代の先端を歩み、前衛であると同時に正統であるといわれた画家である。平成2年死去、享年83歳。令和8年の今年、生誕120年を迎える。

関連イベント

■ 旧吉岡家住宅 ～秋の公開～

令和8年10月30日(金)～11月1日(日)

国登録有形文化財である吉岡堅二画伯の旧宅を3日間限定で一般公開いたします。

吉岡画伯が創作活動をしていたアトリエや作品もご覧いただけます。

開館時間：午前10時～午後4時(入場は午後3時30分まで)

事前申込み不要、入場無料

住所：東大和市清水3-779

問い合わせ：東大和市立郷土博物館 TEL:042-567-4800



公開日の3日間は、旧吉岡家住宅と博物館を往復する無料のシャトルバスを運行いたします。



交通のご案内

■西武拝島線 東大和市駅より
イオンモール行(西武バス)で「八幡神社」下車徒歩2分、
または青梅車庫行(都営バス)で「八幡神社前」下車徒歩2分、
東村山駅行(西武バス)で「奈良橋」下車徒歩7分

■ちよこバス(市内循環バス)で
多摩モノレール上北台駅より外廻り乗車または、
西武多摩湖線武蔵大和駅より内廻り乗車「郷土博物館入口」
下車徒歩2分(本数が少ないので、ご注意ください)

～狭山丘陵の自然・歴史・民俗とプラネタリウム～

東大和市立郷土博物館
Higashiyamato City Museum

〒207-0031 東京都東大和市奈良橋1-260-2
TEL:042-567-4800 FAX:042-567-4166

■ ワークショップ

「日本画絵の具でオリジナルの葉を描こう」

天然の鉱物や土などから作られる日本画の絵の具。

本ワークショップでは、講師がその歴史や魅力をわかりやすく解説します。オリジナルの葉を描く、楽しい日本画のプチ体験です。

日時：令和8年10月17日(土)、10月25日(日)、

各回午後1時30分から4時

定員：中学生以上、各回10名 参加費無料

参加方法：10月3日(土)までに電話にてお申込ください。

会場：東大和市立郷土博物館 会議室

講師：日本画家 吉田有紀子氏

■ 鑑賞会

美術館は静かに絵を鑑賞する場所ですが、博物館の学芸員とおしゃべりしながら皆さんの自由な視点で絵を鑑賞します。

日時：令和8年10月11日(日)、31日(土)、11月8日(日)、

各回 午後1時30分から2時30分

会場：東大和市立郷土博物館 企画展示室

参加費無料、事前申込み不要、当日企画展示室へ直接おこしください。

